

# よさみつうしん

No.7

平成30年1月22日

青山よさみ幼稚園



## 雪が積もったよ！

先日雪が少し積もりました。子ども達は登園してすぐ、「先生！雪！雪！」と、待ちきれない様子でした。真っ白な園庭に、我先にと飛びだしていきました。幼稚園の雪景色はほんとうにきれいです。雪でお化粧された木々に囲まれ、雪合戦をしたり、雪だるまを作ったり、大騒ぎの1日でした。年齢によっても遊び方がちがいで、雪遊びの経験の少ない2歳児は、雪の感触をそっと手で確かめ、その冷たさに驚いていました。3歳児は、雪で小さなお団子を作り、並べ、4・5歳児になれば、もちろん雪合戦で走り周ったり、友だちと力を合わせて少しの雪でも雪だるまを作っていました。冷たさや寒さよりも、雪の楽しさを知っている青山よさみの子ども達の姿に、先生達も負けてはいただけず大騒ぎでした。1年に数日しかない、銀世界の美しさ、雪を楽しめるこの自然環境に感謝です！

例年であれば、もっと積もるのを知っている青山よさみっこにとっては、今回の雪は物足りないようで、「先生！次はいつ積もるかなあ。雪もっと積もってほしい！」とワクワク期待感でいっぱいでした。



## はじめての・・・

鏡びらきについては「食育だより」でもお知らせしましたが、子ども達がはじめての経験と同じように、炭をいこすことは、新任の今井先生、山口先生にとってもはじめての経験でした。

炭がいこるまで悪戦苦闘し、随分時間も経ちました。そのまわりで、子ども達はじっと見守り、待っていました。本当なら、「まだ？」と待ちきれないものの、先生ふたりが一生懸命チャレンジしている様子を不思議そうに、また興味深げにじっとみていました。火がつきそうでつかない、何度もうちわで扇いで・・・。「がんばれがんばれ」の応援。そして、炭がいこった時の歓声！後で、聞くと、園長先生は、実は2階の窓からハラハラしながら、その様子を眺めてくれていたそうです。助けに入るうかなあと思ったものの、その光景が逆に微笑ましく思えてきたそうです。雪の残った遊び慣れた中庭で、このように鏡びらきがなされている。いつまでも伝承していきたいなあと強く願った、ひとときでした。

